

# 80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山

日時：2020年11月3日（祝） 天候：曇のち晴 健脚LV2 歩数：1万5000歩

集合：小田急線秦野駅8時集合 8時24分のバスに乗車

コース：秦野駅（バス）→ヤビツ峠（標高761m）→25丁目→大山山頂（標高1252m）→  
見晴台（標高770m）→阿夫利神社下社解散

参加者：熊坂（L） 市村（SL） 勅使河原 吉越 平石 高橋文 藁谷 河野 伊藤美 栗田 中村ゆ  
丹後 大島 小田 澤 奥村 山田 滝川 畠 高橋友 三田 21人

今年の80歳お祝いウォーキングは、「大山登山を復活して、一般コース（12月6日）と二つのコースでお祝いをしよう」となりました。「80歳になっても大山に登れる体力を」と、80歳お祝い大山登山も6回目になりました。今年80歳を迎えた会員は3人、大山登山には勅使河原さんが参加、82歳の高橋文雄さんも参加して、標高1252mの大山山頂を極めました。今回はコロナ収束祈願も兼ねての山行としました。

今年の「80歳お祝い」は、昼食タイムのあわただしく混雑する山頂を避けて、下山途中の見晴台で行いました。熊坂リーダーの好企画で、参加者に好評でした。ロールケーキとあたたかい飲み物、沢山のお菓子で「80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山達成」のお祝いをした見晴台での記念写真です。



## 秦野駅 80歳お祝い手作りマスク〜バスは高度を上げヤビツ峠へ（標高761m）

集合は、小田急秦野駅8時。駅構内で、高橋友子さんから80歳を迎えた勅使河原さんに、素敵な手作りマスクのプレゼント。早速着用、マスクをしても笑顔と分かる勅使河原さんです。みなさん定刻前に到着して順次バス停へ向かいました。4番線が蓑毛・ヤビツ峠行き、密閉空間回避で乗車したいのですが、満員状態で8時24分にバス発車。バスはどんどん高度を上げて9時丁度、ヤビツ峠バス停（標高761m）に到着。臨時バスもすぐに着きました。小雨模様、トイレを済ませて山行準備。駐車場の空きスペースでストレッチ、熊坂リーダーがコースと班分けを説明しました。



## ヤビツ峠 A班6人 B班7人 C班8人 紅葉の下で出発記念写真

すっかり紅葉になっている木がありました。その紅葉の下で出発記念写真です。A班6人(熊坂A班L 中村A班S L 丹後 大島 山田 三田)、B班7人(河野B班L 畠B班S L 平石 小田 奥村 滝川 高橋友)、C班8人(吉越C班L 市村C班S L 勅使河原 高橋文 藁谷 伊藤美 栗田 澤)です。

A班が9時24分出発、B班とC班は9時27分に出発。通常ルートが「ヤビツレストハウス(仮称)」新築工事に伴い通行止めで迂回路へ。C班の先頭歩きは吉越さん、安定した歩きでみなさんを引っ張って行きます。9時44分、展望が開けている尾根道で小休憩・衣類調整をしているB班に追いつきました。



## 展望が開けている尾根道～山頂へ 1.1 kmの道標～急登直下の25丁目

C班が小休憩・水分補給をしている間にB班が河野さんを先頭に歩き始めました。少し遅れて一息入れたC班もスタート、尾根道の崩れているところがあり補修されていました。C班は10時10分、「ヤビツ峠から1.1km、大山山頂へ1.2km」の道標へ、半分近く上って来ました。小休憩して水分補給。

C班、再スタートしてしばらく行くと、急登を登っていくB班の姿が上の方に見えました。C班も急登を登ってきます。笹藪を抜けて10時53分、表参道コースと合流する25丁目へ。ここからはさらに急登、水1リッター、コンロを入れた大きなリュック、ケーキをもって上って行くA班をズームで下からパチリ。



## 25丁目からの急登～26丁目から石段で山頂直下 C班は記念写真

25丁目からの急登をひたすら上ります。26丁目からは石段を上って鳥居をくぐり阿夫利神社前社へ、C班はここで記念写真。花の写真は中村さん撮影、左から耳型天南星、リンドウ蕾、フジアザミ。



## 阿夫利神社本社へコロナ収束祈願～勅使河原さん万歳ポーズで山頂へ

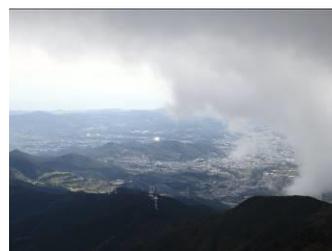
このページの写真は、中村さん撮影。11時4分、A班が阿夫利神社本社へ到着、熊坂リーダーがコロナ収束・安全登山祈願をしました。コロナ収束・安全祈願をしたA班、B班が奥の院がある標高1252mの大山山頂へ次々と上がってきます。

ヤビツ峠からの標高差約500m、11時11分にC班も山頂へ到着です。主役の勅使河原さんは万歳ポーズで到着、続いてこの日最長老の高橋さん、A班、B班のみなさんが拍手で迎えました。澤さん、栗田さん、藁谷さんも元気に到着しました。



## 山頂標柱を挟んで踏破記念写真 昼食タイム 11時51分下山開始

山頂は、元気のよい若者グループや家族連れで満杯状態。まずは大山山頂標柱を挟んで踏破記念写真。最初は勅使河原さんと高橋さん、続いて二人を中心にA班、B班、C班の順で撮影。みなさん、達成感いっぱいの素敵な表情。曇空から陽が出てきて80歳大山登山を祝っているようです。さあ昼食タイムです、テーブルがあるところはどこも先客がいます。みなさん、それぞれ空きスペースを見つけての昼食となりました。11時51分、A班から順次下山開始です。下りは、A班、B班は大分先行して行き、姿が見えなくなりました。鎖場、急峻な下りもなんのその、「見晴台」の案内板が出てきて歩きやすい尾根道になりました。



## C班、「見晴台へ200m」の道標で足取り軽く 拍手で迎えられる

時間は少し前に戻り、C班が鎖場にさしかかる前の12時55分に熊坂リーダーから「見晴台に着いた」とランシーバー連絡。「B班もすぐに到着してお祝い準備、ベンチが塞がっていてまずは席取りから、ケーキとお茶の準備をA班B班みなさんで・・・」(中村)。さすがに早いA班、B班、1時間4分で見晴台到着、ほぼ標準コースタイム。C班、「見晴台へ200m」の道標で足取り軽くなります。13時24分、見晴台へ着くとA班、B班の人が拍手で迎えてくれました。勅使河原さん、高橋さんのベストショット写真は中村さん撮影。C班、ワンテーブルに席を確保でき、ロールケーキと温かい飲み物が出されました。



## 見晴台で「80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山達成」のカンパニー

準備ができたところで展望の良い見晴台でのお祝い、始まり始まり～。熊坂さんが司会、高橋副会長の「80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山（達成）乾杯」の発声で、「カンパニー」。吉越会長が「勅使河原さんは、神奈川ウォーキングクラブ結成時からのメンバーです。病気で倒れてからはお酒一杯をリンゴ1個に代えて歩いています。これからもお元気で」とお祝いのあいさつ。勅使河原さんが「73歳のとき、病気で倒れました。みなさんもお酒はほどほどに。元気にやって来られたのは神奈川ウォーキングクラブとみなさんのおかげです。これからもよろしくお祈りします」とお礼のあいさつをしました。

阿夫利神社下社までは緩やかな下り道、事実上の大山登山達成。お菓子の差し入れもたくさんあり、山頂とは少し違った和やかな顔での談笑。風がないのが何より、一昨年の見晴台は冷たい風が吹いていました。連帯感溢れる楽しい時間はあっという間に過ぎて行きます。準備をしてくださった熊坂リーダーをはじめA班、B班のメンバーに感謝です。下社へ向かいます、C班は途中の二重の瀧前で記念写真。



# 1万5000歩 安全に事故なく山行 連帯感溢れる大山登山でした

下社まで1000mの道標、最後の上りが待っていました。C班、14時24分に下社参道下の茶店がある境内へ到着、ゴールです。クールダウン、歩数は1万5000歩でした。

大山山頂でのみなさんの達成感溢れる顔、見晴台での和やかな顔、「80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山」大成功でした。熊坂リーダーの的確な班分けによる安全で楽しい山行ができたこと、80歳お祝いを見晴台に設定した好企画。中村サブリーダーをはじめとしたA班・B班による見晴台でのお祝い準備、B班の河野リーダーと畠サブリーダーによるまとまりのある山行、C班の吉越リーダーの的確な安定した先頭歩きなどにより安全に事故なく山行できたこと、連帯感溢れる大山登山でした。来年は、C班のメンバーが増えると良いなと思いながら下山しました。



下社で解散後、ケーブル阿夫利神社駅でケーブル利用組7人(吉越 高橋文 藁谷 伊藤美 栗田 大島 奥村)、女坂組9人(勅使河原 平石 熊坂 河野 市村 丹後 小田 澤 高橋友)、男坂組5人(中村 山田 滝川 畠 三田)に分かれて下山しました。女坂組は大山寺で参拝、野生のシカを見ることができました。大山ケーブル駅の階段下では10月桜が咲いていました。こま参道のおみやげ屋でとうふ餅と干柿を購入、標高310mの大山ケーブルバス停へ、山頂から942m下りました。



(いちむら記)